科目名	公民Ⅱ CivicsⅡ			担当教員	田口　淳		
学　年	3年	学　期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分　野	一般	授業形式	講義	科目番号	17120025	単位区分	履修単位

学習目標	心理学を通して自己と他者に対する理解を深めるとともに，先哲の思想を学ぶ中で，社会人としての人生観・世界観・価値観の深化を目標とする。
進め方	講義形式を基本とする。要点は板書もしくはプリントを配布しながら進めていく。 適宜，簡単な心理テストの実施，また討論や視聴覚教材を通して，各自の思索が深まるようにする。

学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	1.「倫理」とは？(1) 2. 生命倫理について(1) 3. 青年期の課題と自己形成(12) (1)青年期の意義 (2)青年期の課題と生き方 [前期中間試験](2)	科学技術が社会に与える影響とともに，現代社会が抱える倫理的諸問題が理解できる。 青年期の特徴を理解するとともに，青年期に生きる自分自身の課題を明確にすることができる。 (A-1)
	＊試験返却・解説(1) 4. 哲学の定義と動機(3) 5. 古代ギリシャの思想(10) 自然哲学者，ソフィスト，ソクラテス，プラトン，アリストテレス，エピクロス，ゼノン 前期末試験	哲学することの意義が理解できる。 哲学の定義及び動機について理解できる。 理性を重視した古代ギリシャの哲学思想・倫理思想の基本的な内容が理解できる。 (A-1)
	＊試験返却・解説(1) 6. 中国の思想(6) 諸子百家，孔子，孟子，荀子，老子，荘子，朱子，王陽明 7. 宗教とは？(1) 8. ユダヤ教とキリスト教(6) [後期中間試験](2)	中国古代の思想の流れと基本的な倫理観が理解できる。 宗教の本来のあり方や必要性が理解できる。 ユダヤ教，キリスト教の基本的な教義及び倫理観が理解できる。(A-1)
	＊試験返却・解説(1) 9. イスラーム(3) 10. バラモン教と仏教(10) 後期末試験	イスラーム，バラモン教，仏教の基本的な教義及び倫理観が理解できる。(A-1)
	試験返却(1)	

評価方法	評価の内訳は，レポートの提出状況 10%，定期試験 90%とする。 四半期ごとの全体評価への重みは，すべて各 25%とする。
履修要件	特になし
関連科目	歴史Ⅰ（1年）→ 歴史Ⅱ（2年）→ 公民Ⅰ（2年）→ 公民Ⅱ（3年）→ 人文科学（4年）
教　材	教科書：竹内整一 他著『倫理』　東京書籍　ISBN 978-4-487-18720-1
備　考	単位追認試験は実施する。再試験の実施については，クラスの平均点を考慮して判断する。 担当教員への連絡先　TEL ： 087-869-3842　　E-mail ： taguchi@t.kagawa-nct.ac.jp